

令和5年度第1回相生市総合教育会議会議録

| | |
|------|--|
| 日 時 | 令和5年5月15日（月）13時30分から14時30分 |
| 会 場 | 市役所3階 議員控室 |
| 出席委員 | 谷口 芳紀 市長 浅井 昌平 教育長 萩原 喜樹 教育長職務代理者 小西 毅 教育委員 西田 香子 教育委員 頭島 恵美 教育委員 |
| 出席職員 | 三宅 淳一 企画総務部長 大西 博之 教育次長（管理担当） 山本 哲也 教育次長（指導担当） 桑名 雅彦 参事（生涯学習担当） 富田 大三 管理課長 木本 博子 学校教育課長 平松 孝夫 体育振興課長 鈴木 高志 人権教育推進室長 立巳 訓子 管理課副主幹（書記） |
| 傍聴者 | なし |

1 開会

2 市長挨拶

本日は、令和5年度第1回相生市総合教育会議を開催させていただきましたところ、公私ご多忙の中、全員の皆様にご出席いただきありがとうございます。

さて、感染流行から約3年が経過しました新型コロナウイルス感染症に関しては、今月8日より感染症法上の位置づけが「5類」へ移行し、様々な対応において大きな転換が求められております。

そのような中、今月末には、相生市の代名詞である「ペーロン祭」をアフターコロナに向けた転機とすべく、花火大会もバージョンアップした形で、盛大に開催させていただきます。

今年度は、本市が次なるステージに移行するための転機となる「新・相生市創造」の年にしたいと考えております。

そのためには、これまで取り組んでまいりました「教育・子育て・定住施策」をさらなる躍進の足がかりとしながら、デジタル化、脱炭素化の推進など、新たな時代にもしっかりと対応したまちづくりを進めてまいりたいと考えております。この新たな時代の主役となる子どもたちのため、より良い教育環境を引き続き提供できるよう取り組んでまい

りたいと考えておりますので、委員の皆様には、これまでと変わらぬ格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この総合教育会議は、今後の「相生の教育」の大きな方向性を決定する会議であり、非常に重要な場でございます。委員の皆様と忌憚りの無い意見交換をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。

3 協議事項

(1) 相生市の教育に関する重点施策について

ア 令和5年度の重点施策について

管理課長

令和5年度の重点施策については、「相生市教育振興基本計画」に基づき進めております、令和5年度「相生の教育」の主な事業を提出させていただきました。

(管理課より機構順に事業概要説明)

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 管理課 | 「相生市立小中学校適正配置計画推進事業」、「小学校理科室空調設備整備事業」 |
| 学校教育課 | 「相生型ハイブリッド学習推進事業」、「英検チャレンジ事業」 |
| 生涯学習課 | 「SDGsの視点を取り入れた学びの推進」、「国内交流事業」 |
| 体育振興課 | 「市民体育館バリアフリー化事業」 |
| 人権教育推進室 | 「人権の学びと地域の絆づくり推進事業」 |

以上の事業が、令和5年度の主要な事業となります。

これらの事業により、教育振興基本計画の推進を図ってまいります。

教育次長（管理担当）

それでは、ただいまの説明について、ご協議をお願いいたします。また、ご質問がございましたら併せてお受けいたしますので、よろしくお願いいたします。

市長

「市民体育館バリアフリー化事業」については、以前より強く要望があったものです。具体的な工事予定はどうなっていますか。

体育振興課長

7月ごろから工事に入り、令和6年3月竣工予定です。

教育次長（管理担当）

他によろしいでしょうか。

協議事項（１） ア 令和５年度の重点施策について、ご了解いただいたということ
でよろしいでしょうか。

市長及び教育委員

はい。

教育次長（管理担当）

それでは、以上により令和５年度の事業を進めてまいります。

4 意見交換

教育次長（管理担当）

協議事項（１） イ その他 に移ります。

本日の総合教育会議は、市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策
について協議や意見調整を行っていただく会議となっております。最初に、今後の教
育について、萩原教育長職務代理者から順に各委員の相生市の教育に関する所感をお
聞かせいただき、次に、市長の教育に関する所感をお聞かせいただきます。その後、
市長と各委員による自由意見交換を行っていただきたいと思いますと考えております。

それでは、萩原教育長職務代理者からよろしく申し上げます。

萩原教育長職務代理者

５月８日から新型コロナウイルスが５類へ移行したことに伴い、我々の新型コロナ
ウイルスに対する見方が変化して、徐々に以前の生活に戻りつつあります。

この３年間のコロナ禍において、教育現場では多く制約を受け、行事の制限、見直
しなどを余儀なくされてきました。ただ、その中でも何か得たものはあったのではな
いかと考えます。今までのやり方を大事にしながら、これを機に行事などを精選し見
直す中で、新しい教育の在り方を考えてもよいのではないかと思います。このこと
により働き方改革にも繋がるのではないかと考えます。

また、ＡＩ教育でデジタル化が目覚ましく進む昨今ですが、教育の基本というの
は、普段から子どもたちをしっかりと見つめて、個々に寄り添った指導が大切だと思
います。これからも相生っ子一人一人を大切にされた教育を、より一層推進していただ
きたいと思っております。

教育次長（管理担当）

次に、小西委員よろしく申し上げます。

小西委員

新型コロナウイルスに対する生活の変化で、多くの外国人観光客が戻ってきました。田舎の方でも外国人観光客を見かけることがあります。

しかし、外国語で尋ねられても、たじろぐ日本人が多くいます。

相生の子どもたちは、ワンピース・イングリッシュなど英語教育を長く続けており、英語や外国人にずいぶん慣れてきました。その上で、英検チャレンジ事業があれば、英語をたくさん聞き取りしてどんどん耳が慣れていくと思います。自分の英語学習の成果を確認できる機会は非常に大切なことだと思います。

これから職場でも国際化していくでしょう。外国人労働者については国も施策として掲げています。これからのグローバル社会に対応できる力を育てる教育環境をお願いします。

教育次長（管理担当）

次に、西田委員よろしく申し上げます。

西田委員

日本舞踊においては、相生市でも高齢化により、発表の場に人が集まらないことがあります。6月に京都で行われる会では、東京の方が大半を占めており、遠方のためお客様を多く集めるのが困難で、特に人手不足を感じます。その中で、近場で親子で日本舞踊体験をしていただくといったようなことを考えています。

また、パソコンやスマホは子どもたちにも普及しています。親が共働きで忙しくしていますので、代わりに私が子どもの面倒をみる必要がありますが、家族団らんの中でも、ふと気づくとみんな機械の画面を見ているといった状況があります。

先ほど萩原委員のお話にもありましたが、もっと子どもの目を見る時間が欲しいなと思いました。教育現場だけでなく家庭の中でも目を見て話しをする機会を大切にしていって、日々の学校での出来事を聞いたりすることで、たとえ学校でいじめなどがあっても、家庭という逃げ場があるんだよということが伝わるのではないかと考えます。

教育次長（管理担当）

次に、頭島委員よろしく申し上げます。

頭島委員

今年度から、第2次相生市立小中学校適正配置計画に基づく検討が始まります。私の住んでいる地域は計画の基準に該当すると思いますが、昨年12月の総合教育会議において、卒業した私の子どもが、相生市における少人数のきめ細かな教育を受けられて、とてもありがたかったとお話しさせていただきました。

今後、相生市は人数に関わらずよい教育環境で教育が行われているということ、私の経験として、今学校へ通わせている保護者やこれから学校へ通う保護者の方へお伝えしていけたらと考えています。

教育次長（管理担当）

最後に、市長よろしく申し上げます。

市長

それでは、私から今後の教育に期待することについて、考え方を申し上げます。

私は、「まちづくり」をする上で、基本となるのが「ひとづくり」にあると考えており、私が目指す教育とは、「育てることで人が輝き、そのことが地域の将来の力に繋がっていく」というものです。

そういったことから、今後の「相生の教育」に期待すべき点について、考えを3点申し上げさせていただきます。

まず、1点目は、学校教育分野についてであります。コロナ禍における3年で社会全体の対人関係が希薄になったといわれています。将来を担う子どもたちのため整備を進めた、ICTを活用した個別学習や協働学習の更なる充実を図るとともに、従来の「ふれあいや絆を重視した学び」の意義を見直し尊重した、「相生型ハイブリッド学習」の更なる推進を図っていただきたいと思っております。

人権教育においては、多様性を尊重する時代の中で、学びを通じた人と人とのつながりの大切さを再認識し、絆をさらに深めていただくとともに、SNSなどを起因とする事件・事故等において、子どもたちが当事者とならないよう、ケータイ・スマホ教室など、子どもたちへの学習機会の充実について、よろしく願いいたします。

2点目は、生涯学習分野において、子どもから大人まで誰もが生涯にわたり文化芸術やスポーツに親しめるよう更なる事業の充実をお願いします。

まず、芸術文化の振興においては、アフターコロナへの転機として賑わいの拠点となるよう、市民の多様なご意見を反映しつつ「なぎさホール」の自主事業の充実をお願いします。

また、スポーツ分野では体育館のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化を進めるとともに、パラスポーツの更なる普及などハード・ソフト両面での市民のスポーツ環境の充実をお願いします。

3点目は、市立小中学校の適正配置についてであります。今年度は、第2次相生市立小中学校適正配置計画スタート元年となっております。子どもの教育環境を第一に考えながらも、学校は地域コミュニティの核でもありますので、地域の方々との十分な協議による合意のもとに進めていただきますよう、よろしく願いいたします。

最後になりますが、子どもたちが主体的に物事を判断する力、未来を切り拓く力を身につけ、多様な人と共生する豊かな心を持った人となるよう、コロナ前よりもレベルアップした「相生の教育」を進めていただきたいと考えておりますので、今年度も委員の皆様には、これまでと変わらぬ格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育次長（管理担当）

それでは、協議事項に関するご意見も含め、自由に意見交換を行っていただきたいと思えます。

市長

教育委員会に対し質問させていただきます。3月10日に発生しました、相生市立中学校の生徒が自殺された事案につきまして、現在の状況、また今後の予定について答えられる範囲で結構ですのでお願いします。

教育長

現在当該校においては、スクールカウンセラーなどの専門家を配置して、生徒、保護者、教職員の相談や支援に応じながら教育活動を継続しております。

今後、各校の校長面談を予定しており、その中で市内各校の状況などを聞き取りしたいと考えております。

教育委員会では第三者委員会の設置に向けて事務を進めています。各職能団体に委員の推薦依頼をし、臨時市議会を待って就任依頼などの事務に入り、6月初旬の立ち上げに向けて現在事務を進めています。

市長

わかりました。

教育次長（管理担当）

その他、これまでの協議事項なども含めてご意見ご質問などございませんか。

市長

西田委員のお話について、私も夕食後などの家族の団らんは非常に重要だと考えます。

また、日本舞踊では若い人が増えないということですが、習い事としては、費用が嵩むということはないですか。

西田委員

世間では費用負担が大きいように言われていますが、浴衣と扇子があれば踊れます。ただし、舞台を借りる際には使用料が人数割なので、人数が少ないと、どうしても負担が大きくなってしまいます。

今は、たくさん習い事や趣味がある中で仕方ないことですが、伝統芸能の子ども教室の中では、好きで休まずに続けた子どもたくさんいます。ただし、その先となると、保護者からやめるように言われることが多いようです。何とか踊る人を増やすような対策を考えないといけないと思っています。

市長

頭島委員は、小規模校の良さについて話されていましたが、どういったことでしょうか。

頭島委員

私自身は、大きな学校の方がよいのではないかと思っておりましたが、私の子どもが卒業して教育関係の勉強をする中で、周りの子が全然体験していない様なこと、例えば牡蠣の種付けだとか、地域の祭りのことだとか、自分は小学校時代に深く体験させてもらっていたことが、凄くありがたいことだったというので、私もそうだったのかと気づかされました。

ただ、子どもが通っていた時よりも人数が減っているので、色々な考え方があると思います。

市長

それについては、これから地域協議会を立ち上げて1年から2年かけてよい合意形成に向けて検討していく予定ということです。

教育長

適正配置計画を立てる際のアンケートの中では、小規模校に対して、在校生の保護者や卒業生では「良い」というような回答が多く、未就学の子を持つ保護者は「不安」というような回答が多くありました。小規模校を経験している方は「良かった」という感想を持っているという結果がありました。

市長

小西委員は、英語教育のお話をされていましたが、職場で英語圏の方は多くおられますか。

小西委員

英語圏の方は少なくアジアの方が多いと感じます。これからもっと増えていくと思います。

先日、トラック業界も国交省に対して外国人労働者の雇用について申請を出したそうです。運送会社のトラックは「緑ナンバー」で運転手は日本人しかいません。日本人の仕事を守るという意味の施策だったんですが、人手不足が大きな問題になり、外国人労働者をとということだそうです。

また、都会のコンビニエンスストアでは店員がほとんど外国人です。

市長

これからの人手不足で、外国人労働者の力を借りないといけない業種が増えるでしょう。

市長

他には何か意見などはございますか。

萩原教育長職務代理者

相生市ではハイブリッド学習というのを行っています。もちろんデジタル化は避けて通れないのですが、やっぱり教育というのはふれあいとか体験が基本にあって、デジタル機器は手段としての活用をお願いしたいと機会がある度に申し上げます。

次々とA I技術が進んで、教育現場にもどんどん取り入れられていくと思います。A Iのメリットとデメリットを早め早めに検討していく必要があるのではないのでしょうか。

企業では、すでに多く取り入れられているのでしょうか。

小西委員

仕事で使用する機械の操作でわからないことがあっても、インターネットで検索すると、すぐに動画が出てきます。トラックの取り扱い説明書などもすべて動画になっています。

とても便利ですが、考える前に、簡単に答えの動画を見ることができるので、みんなで話し合い、考える機会が少なくなっています。

市長

行政でもA Iの導入を検討しているようで、兵庫県でもA I導入の研究をするようです。

教育次長（管理担当）

他にご意見等はございませんでしょうか。

それでは、本日いただきましたご意見を踏まえ、事務局といたしまして今後の施策に反映すべく検討させていただき、また、予算措置が必要な事項については、関係部課との協議・調整に努めてまいります。

なお、次回は12月ごろ開催を予定しております。

それでは、本日の協議事項はすべて終了いたしました。閉会にあたり教育長よりご挨拶をお願いいたします。

教育長

閉会の挨拶

令和5年度第1回相生市総合教育会議を終了